

第29回北海道生活科・総合的な学習教育研究大会旭川大会 課題別分科会 プレゼン資料

[提言テーマ]

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、 次の活動へつなげる学習活動を 重視した授業づくり



名寄市立名寄小学校 林 琢磨

提言テーマ

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、 次の活動へつなげる学習活動を 重視した授業づくり

1. 資質・能力を高める
学びのプロセスの明確化
2. 教師の適切な指導

1年生活科 「ふゆとともにだちになろう」

1. 資質・能力を高める 学びのプロセスの明確化

学習材

学習活動

単元計画

- ①児童の実態から中心となる活動を決定する。
- ②育ちの到達点と通過点を明確にする。
- ③学びのプロセスを構想する。

①児童の実態から中心となる活動を決定する

児童の実態

聞き取り

観察

- ・比較的、屋内で過ごすことが多い。
- ・自分たちで遊びを工夫したり、遊びの約束やルールを決めたりする経験が少ない。



米ぞい遊び

②育ちの到達点と通過点を明確にする

気付きの質の高まり

生活科の学習過程のイメージ(案)

別添 7 - 3

生活科の「見方・考え方」(身近な生活に関する見方・考え方)

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連づけ、試行、予測、工夫することなどを通して、自分自身や自分の生活について考えること

思いや願いをもつ
表現する・行為する

活動や体験をする
感じる・考える

- 対象に関心を持つ
- 身体全体で対象と関わる
- 自ら対象に働きかける

- 比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える
- 違いに気付いたり、よさを生かしたりして他者と関わり合う
- 試したり、見立てたり、予測したり、見通しを持ったりして創り出す

- 伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する
- 生活に生かしたり、生活を豊かにしたりする

探究心 他者尊重 地域への愛着 適切な関わり 公共 安全 (主に人や社会との関わり)

好奇心 自然との触れ合い 感性 生命尊重 創造 (主に自然との関わり)

意欲 自信 成長 自分らしさ 感謝 (主に自分自身)

人、社会、自然に対する個別的な気付き
(例:学校生活を支えている人々がいること、季節によって生活の様子が変わることなど)

人、社会・自然に対する関係的な気付き
(例:空間の中でつながり関わっていること、きまりや一定の変化があることなど)

自分自身への気付き
(例:自分自身が成長したこと、役割が増えたことなど)

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能(例:生活のリズム・病気の予防・ルール・マナー、道具を使って物を作る・動植物の世話をできるなど)

人、社会、
自然に対する個別
的な気付
き

人、社会、
自然に対する関係
的な気付
き

自分自
身への気
付き

人、社会、自然に対する個別的な気付き
(例:学校生活を支えている人々がいること、季節によ
って生活の様子が変わることなど)

人、社会・自然に対する関係的な気付き
(例:空間の中でつながり関わっていること、きまりや一
定の変化があることなど)

自分自身への気付き
(例:自分自身が成長したこと、役割が増えたことなど)

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能(例:生活のリズム・病気の予防・ルール・マナー、道具を使って物を作る・動植物の世話をできるなど)

人、社会、
自然に対する個別
な気付き

人、社会、自然に対する個別的な気付き

(例:学校生活を支えている人々がいること、季節に
よって生活の様子が変わることなど)

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能(

「段ボール、ひも、布
テープ等を使うとそ
うい作いができるんだ
ね」

通過点①

「米ぞり遊びは楽しい
な」

「ひもを引 きずると 滑らない」



自分

友達

共通点

人、社会、
自然に対する関係的な気付
き

人、社会・自然に対する関係的な気付き
(例:空間の中でつながり関わっていること、きまり
や一定の変化があることなど)

材料と作
い方を工
夫すれば
自分の思
いに合った
米ぞりがで
きる」



生活科の「見方・考え方」

身近なこと

こと

心

活動や

到達点

「遊びをつくるのが
好きになった」



予測したり、見
守りたりして創り出す

の愛着 適切な関わり 公共

感性 生命尊重 創造

「みんなで協力し楽しく
遊ぶことができた」

自分自身への気付き

自分自身への気付き

(例:自分自身が成長したこと、役割が増えたことなど)

する・動植物の世話ができるなど)

③学びのプロセスを構想する

次	気付きの質	学習活動
第1次	個別的な 気付き	<ul style="list-style-type: none">①活動・体験②伝え合う・振り返る活動③思いや願いをもつ
第2次	関係的な 気付き	<ul style="list-style-type: none">①活動・体験②伝え合う・振り返る活動③思いや願いをもつ
第3次	自分自身への 気付き	<ul style="list-style-type: none">①活動・体験②伝え合う・振り返る活動③思いや願いをもつ

1. 資質・能力を高める

学びのプロセスの明確化

個別的な気付き 関係的な気付き 自分自身への
気付き

学習材

学習活動

単元計画

①児童の実態から中心となる活動を決定する。

②育ちの到達点と通過点を明確にする。

③学びのプロセスを構想する。

2. 教師の適切な指導

①試行錯誤する活動を設定する。



②伝え合い交流する場を設定する。



①試行錯誤する活動を設定する。



「2人乗りの米どりで競争するゲームを友達に楽しんでもらいたいな」

「.....」

「どんなルールにするといいかな？」



①試行錯誤する活動を設定する。

「2人乗りがしやすくなるようにシートベルトをつけるといいは」



「ゴールが分かいやすいように、黄色いひもを目印にするといいは」

①

試行錯誤する活動を設定する。

活動や体験

提言テーマ

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、
次の活動へつなげる学習活動を
重視した授業づくり

思考・認識

②伝え合い交流する場を設定する。

米ぞり遊び

気付きを伝え合い
交流する場

輪番で発言

経験の蓄積

習慣化
意欲向上

②伝え合い交流する場を設定する。

児童の発言

はっけん

よそう

くらべる

たとえる

アイデア

ぎもん

せいちよう

気付きを表現

②伝え合い交流する場を設定する。

「米びの裏にクラフトテープをつけると、つるつるしているから滑いややすいのではないか」

「クラフトテープがあるから滑いが悪い」

くらべる

せいちよう

「わたしは、4にんですべてよかったです。またすべりたいなどおもいました。チャレンジしていくとできるようになり、もっとやいだいなどおもいました」

2. 教師の適切な指導

- ① 試行錯誤する活動を設定する。

提言テーマ

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、
次の活動へつなげる学習活動を
重視した授業づくり

- ② 伝え合い交流する場を設定する。

生活科の授業づくり

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、 次の活動へつなげる学習活動を 重視した授業づくり

学習材

学習活動

1. 資質・能力を高める

学びのプロセスの明確化

個別的な気付き | 関係的な気付き | 自分自身への気付き

通過点

到達点

試行錯誤

伝え合い交流する場

2. 教師の適切な指導

輪番発言

考える技法をラベリング